

令和8年度茨高教研 理事会並びに研究協議会

1 日 時 令和8年6月18日(木) 14:00～16:30

2 場 所 茨城県立歴史館 講堂
茨城県水戸市緑町2丁目1-15 (029-225-4425)

【 会 次 第 】

1 開会のことば

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 令和7年度事業報告及び決算報告について

(2) 令和8年度事業計画(案)及び予算(案)について

(3) 令和8年度総会並びに講演会要項(案)について

(4) その他

4 支援事業等について

(1) 茨高教研に対するげんでんふれあい茨城財団の支援事業の取扱要項

(2) その他

5 研究協議

(1) 茨高教研の活動について

6 その他

7 閉会のことば

目 次

令和7年度 事 業 報 告	1
令和7年度 決 算 書	2
令和7年度 げんでんふれあい茨城財団助成金決算書	3
監 査 報 告 書.....	4
令和8年度 事 業 計 画（案）	5
令和8年度 予 算 書（案）	6
令和8年度 げんでんふれあい茨城財団助成金予算書（案）	7
令和8年度 各部事業費配分額（案）	8
令和8年度茨城県高等学校教育研究会総会並びに講演会要項（案）	9
公益財団法人げんでんふれあい茨城財団事業実施要領	10
令和8年度学校代議員一覧	12
令和8年度 理 事.....	14
令和8年度 部代議員一覧	15
令和8年度 部長・事務局担当者一覧	16
茨城県高等学校教育研究会規約	17
茨城県高等学校教育研究会経理規程	19
茨城県高等学校教育研究会運営細則	20
各部の事業費配分方式	20
茨城県高等学校教育研究会発行研究集録原稿提出についての申し合わせ事項	21
茨城県高等学校教育研究会監事選出の申し合わせ事項	21
茨城県高等学校教育研究会における補助金に関する申し合わせ事項	22

出席者名簿

部名	氏名	校・職	出欠	氏名	校・職	出欠	氏名	校・職	出欠
国語	高野美有紀	牛久・長	出	菊池幸恵	日立商・長	出	船橋希予	総和工・諭	欠
公民	細貝雅之	日立一・長	出	石本由布子	牛久栄進・頭	出	武藤智	日立一・諭	出
地理	西野守郎	水戸南・長	出	宇都木宏一	守谷・教頭	欠	竹内宏和	牛久・諭	出
歴史	井上宏孝	那珂湊・長	欠	大塚健司	下館工・頭	欠	栗原伸慈	牛久・諭	出
数学	櫻井良種	竹園・長	欠	飯泉潤也	土浦一・諭		川上博行	水戸二・諭	欠
生物	江原忠宏	中央・長	欠	鈴木亮輔	牛久・諭	出	西元重雄	水海道一・諭	出
理化	榊原洋子	境・長	出	大西武彦	藤代・長		富澤英士	鉾田二・頭	欠
地学	渡邊聡	土浦三・長	出	磯邊裕一	水戸一・諭	欠	松本現	土浦三・諭	欠
音楽	高野光章	潮来・長	出	前島誠	日立一・諭	欠	郷恵子	取手松陽・諭	欠
美術工芸	鈴木厚子	古河三・長	欠	安島尚毅	勝田工・長	出	鈴木麻巨	古河三・諭	出
書道	四位学	水海道二・長		郡司美知子	水戸三・頭	出	打越茉衣	水海道二・諭	出
保健体育	野友宏則	神栖・長	欠	金子英樹	大子清流・長		柳真佐子	土浦湖北・長	欠
家庭	鈴木治子	日立二・長	出	齋藤和美	取手二・諭	欠	久野真紀子	竜ヶ崎二・諭	欠
英語	谷津勉	土浦一・長	欠	鈴木厚子	古河三・長	欠	田中淳子	竹園・副	欠
農業	堤祐二	水戸農・長	欠	菊池克明	真壁・長	出	小澤茂幸	江戸崎総合・長	欠
工業	田中一豪	水戸工・長		工藤博幸	常陸大宮・長	出	鈴木嘉春	水戸工・諭	出
商業	岡野敏昌	水戸商・長	出	高野光章	潮来・長	出	長嶺朋	水戸商・諭	出
水産	岡田浩	海洋・長	欠	阿部圭二	海洋・頭		北條篤史	海洋・諭	
衛生看護	額賀修一	大成女子・長	欠	広瀬聖子	大成女子・頭	出	比氣勝俊	岩瀬・頭	欠
情報	渡邊英一	下館一・長		津賀宗充	土浦二・長		速水奈穂美	土浦二・副	
福祉	石塚博幸	古河二・長	欠	山下則雄	高萩清松・長	出	林冴美	古河二・諭	出
図書館	奈良由紀子	牛久栄進・長	欠	高野美有紀	牛久・長	出	青木勇也	牛久栄進・諭	出
視聴覚	岡村守	霞ヶ浦・長	欠	星浩一	水戸二・諭	出	石川瑤子	竜ヶ崎一・諭	欠
生徒支援	高野太一	茨城東・長		石川正幸	波崎柳川・頭	出	黒澤信行	茨城東・諭	出
進路指導	須藤一道	藤代紫水・長	欠	谷中頌太	藤代紫水・諭	出	芳賀裕子	藤代紫水・諭	
定通	西野守郎	水戸南・長	出	綿引志雅子	鹿島灘・長	出	渡邊利視	水戸南・頭	出
養護	野友宏則	神栖・長	欠	棚澤美和	水戸商・諭	出	津嶋純子	神栖・諭	出
特別活動	細貝雅之	日立一・長	出	岩崎卓士	取手二・長	出	新堀隆久	大洗・長	欠
教育相談	井上宏孝	那珂湊・長	欠	青木重雄	鹿島・頭		菅原薫	茎崎・頭	欠

令和7年度 事業報告

令和7年

- 4月 1日(火) 会員登録案内発出
4日(金) 茨城県信育英会奨学生募集案内発出
- 5月 14日(水) 役員・幹事会並びに研究協議会(緑岡高校)
- 6月 5日(木) 会計監査(緑岡高校)
17日(火) げんでん支援事業計画書提出
(6部:げんでんふれあい茨城財団へ)
18日(水) 理事会並びに研究協議会
(茨城県立歴史館 講堂)
- 7月 2日(水) 総会並びに講演会(教育プラザいばらき)
17日(木) 各部事業費配分
- 10月 1日(水) 会報第134号発行

令和8年

- 3月 2日(月) 会報第135号発行
17日(火) げんでん支援事業実績報告書提出
(6部:げんでんふれあい茨城財団へ)
31日(火) 研究集録第54号発行

令和7年度 決 算 書

収 入 額 9,457,905 円
 支 出 額 8,976,836 円
 残 額 481,069 円 (次年度に繰越)

(収入の部)

(単位:円)

項 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)	摘 要
1 会 費	8,499,400	8,567,000	67,600	2,600円×3,295人
2 助 成 金	600,000	600,000	0	(公財)日本教育公務員弘済会茨城支部
3 雑 収 入	514	1,719	1,205	利息
4 繰 越 金	289,186	289,186	0	前年度から
計	9,389,100	9,457,905	68,805	

(支出の部)

(単位:円)

項 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)	摘 要
1 事 務 局 費	125,000	35,385	△ 89,615	
旅 費	10,000	1,736	△ 8,264	
消 耗 品 費	15,000	2,340	△ 12,660	事務用品等
通 信 運 搬 費	50,000	11,614	△ 38,386	郵送料、切手代等
印 刷 製 本 費	30,000	3,300	△ 26,700	封筒印刷代等
振 替 手 数 料	20,000	16,395	△ 3,605	
2 総会及び会議費	80,000	62,651	△ 17,349	
総 会 費	60,000	53,931	△ 6,069	講師謝金、会場使用料等
会 議 費	20,000	8,720	△ 11,280	会場使用料等
3 事 業 費	9,153,300	8,878,800	△ 274,500	
本 部 事 業 費	800,000	555,500	△ 244,500	会報2回、研究集録1回
各 部 事 業 費	8,183,300	8,183,300	0	
研究大会補助費	170,000	140,000	△ 30,000	関東大会:定通、歴史、水産、工業 工業(情報)
4 予 備 費	30,800	0	△ 30,800	
計	9,389,100	8,976,836	△ 412,264	

令和7年度 げんでんふれあい茨城財団助成金決算書

収 入 額	600,000 円
支 出 額	600,000 円
残 額	0 円

(収入の部)

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	比較増減	摘 要
助 成 金	600,000	600,000	0	げんでんふれあい茨城財団
計	600,000	600,000	0	

(支出の部)

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	比較増減	摘 要
支 援 事 業 費	600,000	600,000	0	げんでんふれあい茨城財団研究費 100,000円×6部 (生物、理化学、地学、工業、農業、水産)
計	600,000	600,000	0	

茨城県高等学校教育研究会長 殿

監 査 報 告 書

令和7年度茨城県高等学校教育研究会会計を監査の結果、証拠書等も遺漏なく予算執行も適正に行われたことを認めます。

令和8年 6月 8日

茨城県高等学校教育研究会

監 事 _____

令和8年度 事業計画（案）

令和8年

- 4月 1日（水） 会員登録案内発出
3日（金） 茨城県信育英会奨学生募集案内発出
- 5月19日（火） 役員・幹事会並びに研究協議会（緑岡高校）
- 6月上旬 会計監査（緑岡高校）
18日（木） 理事会並びに研究協議会
（茨城県立歴史館 講堂）
- 7月 1日（水） 総会並びに講演会（教育プラザいばらき）
中旬 各部事業費配分
中旬 日本教育公務員弘済会茨城支部助成金受領
下旬 げんでん支援事業計画書提出
（6部：げんでんふれあい茨城財団へ）
- 10月 1日（木） 会報第136号発行
下旬 役員・幹事会並びに研究協議会（緑岡高校）
- 11月 中旬 部長会並びに研究協議会
（協議事項がない場合は中止する）

令和9年

- 3月 1日（月） 会報第137号発行
中旬 げんでん支援事業実績報告書提出
（6部：げんでんふれあい茨城財団へ）
下旬 研究集録第55号発行

令和8年度 予 算 書 (案)

(収入の部)

(単位：円)

項 目	予 算 額		比較増減 (A)-(B)	摘 要
	8年度(A)	7年度(B)		
1 会 費	8,377,200	8,499,400	△ 122,200	2,600円×3,222人
2 助 成 金	600,000	600,000	0	(公財)日本教育公務員弘済会茨城支部
3 雑 収 入	331	514	△ 183	利息
4 繰 越 金	481,069	289,186	191,883	前年度から
計	9,458,600	9,389,100	69,500	

(支出の部)

(単位：円)

項 目	予 算 額		比較増減 (A)-(B)	摘 要
	8年度(A)	7年度(B)		
1 事 務 局 費	125,000	125,000	0	
旅 費	10,000	10,000	0	交通費
消 耗 品 費	15,000	15,000	0	事務用品等
通 信 運 搬 費	50,000	50,000	0	郵送料、切手代
印 刷 製 本 費	30,000	30,000	0	封筒印刷代等
振 替 手 数 料	20,000	20,000	0	
2 総 会 及 び 会 議 費	80,000	80,000	0	
総 会 費	60,000	60,000	0	会場使用料、講師謝礼
会 議 費	20,000	20,000	0	会場使用料
3 事 業 費	9,247,900	9,153,300	94,600	
本 部 事 業 費	800,000	800,000	0	会報2回、研究集録1回
各 部 事 業 費	8,327,900	8,183,300	144,600	
研究大会補助費	120,000	170,000	△ 50,000	全国大会：定通部、水産部 関東大会（一分野）：工業部
4 予 備 費	5,700	30,800	△ 25,100	
計	9,458,600	9,389,100	69,500	

令和8年度 げんでんふれあい茨城財団助成金予算書（案）

（収入の部）

（単位：円）

項 目	予 算 額		比較増減 (A)-(B)	摘 要
	8年度(A)	7年度(B)		
助 成 金	600,000	600,000	0	げんでんふれあい茨城財団
計	600,000	600,000	0	

（支出の部）

（単位：円）

項 目	予 算 額		比較増減 (A)-(B)	摘 要
	8年度(A)	7年度(B)		
支 援 事 業 費	600,000	600,000	0	げんでんふれあい茨城財団研究費 工業部、水産部、地学部、農業部 生物部、理化部 6部×10万円
計	600,000	600,000	0	

令和8年度 各部事業費配分額（案）

（円）

	部 名	部員数	校数	基礎額	部員数割	校数割 400円/校	8年度額	前年度額	配分額比較
1	国 語	286	91	80,000	378,950	36,400	495,400	519,500	△ 24,100
2	公 民	152	79	80,000	201,400	31,600	313,000	300,500	12,500
3	地 理	154	73	80,000	204,050	29,200	313,300	296,700	16,600
4	歴 史	257	97	80,000	340,520	38,800	459,400	430,100	29,300
5	数 学	294	90	80,000	389,550	36,000	505,600	507,500	△ 1,900
6	生 物	138	77	80,000	182,850	30,800	293,700	287,400	6,300
7	理 化	197	82	80,000	261,020	32,800	373,900	361,000	12,900
8	地 学	59	38	80,000	78,170	15,200	173,400	181,100	△ 7,700
9	音 楽	82	67	80,000	108,650	26,800	215,500	209,700	5,800
10	美術工芸	57	43	80,000	75,520	17,200	172,800	171,700	1,100
11	書 道	83	50	80,000	109,970	20,000	210,000	240,100	△ 30,100
12	保健体育	336	107	80,000	445,200	42,800	568,000	547,400	20,600
13	家 庭	172	79	80,000	227,900	31,600	339,500	344,800	△ 5,300
14	英 語	283	102	80,000	374,970	40,800	495,800	467,400	28,400
15	農 業	126	12	80,000	166,950	4,800	251,800	254,600	△ 2,800
16	工 業	268	19	80,000	355,100	7,600	442,700	438,200	4,500
17	商 業	211	41	80,000	279,570	16,400	376,000	349,200	26,800
18	水 産	32	7	80,000	42,400	2,800	125,200	127,000	△ 1,800
19	衛生看護	22	3	80,000	29,150	1,200	110,400	110,900	△ 500
20	情 報	142	78	80,000	188,150	31,200	299,400	287,800	11,600
21	福 祉	24	12	80,000	31,800	4,800	116,600	112,400	4,200
22	図 書 館	170	88	80,000	89,760	35,200	205,000	207,000	△ 2,000
23	視 聴 覚	41	26	80,000	21,640	10,400	112,100	108,200	3,900
24	生徒支援	247	95	80,000	130,410	38,000	248,500	238,100	10,400
25	進路指導	330	103	80,000	174,240	41,200	295,500	284,200	11,300
26	定 通	108	14	80,000	57,020	5,600	142,700	143,300	△ 600
27	養 護	160	117	80,000	147,840	46,800	274,700	266,600	8,100
28	特別活動	100	64	80,000	52,800	25,600	158,400	156,600	1,800
29	教育相談	237	86	80,000	125,130	34,400	239,600	234,300	5,300
	計	教科部会会員数 3,375 領域部会会員数 1,393		2,320,000	5,270,680	736,000	8,327,900	8,183,300	144,600

令和８年度茨城県高等学校教育研究会総会並びに講演会要項（案）

- １ 主催 茨城県高等学校教育研究会
- ２ 共催 茨城県教育委員会（予定）
- ３ 日時 令和８年７月１日（水） 13:45～16:30
※受付 13:15～13:45
- ４ 会場 教育プラザいばらき
水戸市大場町９３３－１（029-269-1300）
- ５ 会次第
 - （１） 開会のことば
 - （２） 会長あいさつ
 - （３） 教育長あいさつ
 - （４） 来賓あいさつ
 - （５） 議長団選出（部代議員１名、学校代議員１名）
 - （６） 議 事
 - ア 令和７年度事業報告及び決算報告
 - イ 監査報告
 - ウ 役員選出・新役員あいさつ
 - エ 令和８年度事業計画及び予算案審議
 - オ その他
 - （７） 支援事業等について
 - ア 茨高教研に対するげんでんふれあい茨城財団の支援事業
 - イ その他
 - （８） その他
 - （９） 講 演
 - 講 師 一般財団法人日本ペップトーク普及協会認定講師
社会保険労務士 関 正彦氏
 - 演 題 生徒の可能性を引き出す言葉の力 ～信頼関係を築くペップトーク～
 - （10） 閉会のことば

公益財団法人げんでんふれあい茨城財団事業実施要領

(目的)

第1条 この要領は、公益財団法人げんでんふれあい茨城財団（以下「当財団」という。）の定款第59条に基づき、当財団が地域団体等との連携あるいはその活動を支援し、定款第5条の事業を行うために必要な事項を定めるものとする。

(団体等の対象者)

第2条 当財団が連携又は支援する地域団体等は、原則として次の各号の要件をいずれも満たさなければならない。

- (1) 事務所の住所又は所在地が、茨城県内であること
- (2) 一定の事業及び活動の実績があり、引きつづき事業及び活動の推進ができるものであること
- (3) 代表者又は責任者が明らかで、かつ会計処理が明確であること

(事業の種別及び対象)

第3条 当財団が、地域団体等と連携又はその活動を支援して行う事業の種別は、その運営形態に基づき、次の各号に掲げるものとする

- (1) 共催事業
- (2) 協賛事業
- (3) 特別協賛事業
- (4) 委託事業

(事前協議及び事業計画書の提出)

第4条 当財団との連携又は活動への支援を要望する地域団体等（以下「団体等」という。）は、その事業の基本方針及び概要について、当財団と事前協議を行うものとする。

2 団体等は、前項の事前協議の結果に基づき、事業計画書（様式1号又は様式2号 の該当様式）に必要な資料を添付のうえ、理事長に提出するものとする。

(事業の決定通知)

第5条 理事長は、前条第2項に基づき提出された事業計画書に関し、事前協議等必要な調査検討の結果をもって判断し、事業を承認する場合には、団体等に対して事業の決定を通知（様式3号）する。

2 前項における委託事業に関する事業の決定の通知（様式4号）は、次の各号をもって行うものとする。

- (1) 当財団は、次に掲げる事項を明示し、事業の実施を委託する。
 - イ 受託者の名称及び代表者名
 - ロ 委託事業の名称
 - ハ 受託事業は内容及び経費（仕様書）
- (2) 受託者は、前号の事業の実施に関する受託内容について検討し、承諾する場合には、請書（様式5号）を理事長に提出するものとする。

(遵守事項)

第6条 事業の決定の通知を受けた団体等は、当該事業の実施において、次の各号に掲げる事項を遵守するものとする。

- (1) 団体等は、事業計画に従って適正に事業を完遂すること。このため、委託事業の受託者は、業務責任者を定め、書面をもって当財団に届け出ること

- (2) 団体等は、当該事業を広報する新聞広告、ポスター、チラシ及びパンフレット等に、当財団の支援によって実施する旨を掲載すること。掲載内容については、当財団と協議の上、決定すること
- (3) その他当財団が必要とする場合は、その指示に従うこと

(助成金又は委託費の支払)

第7条 団体等への助成金又は委託費は、次の各号に基づき、支払うものとする。

- (1) 助成金又は委託費は、事業が終了し、第9条に基づく事業実施報告書が理事長に提出され、その内容が妥当と認められた後に支払うものとする。
- (2) 理事長は、団体等の請求において必要があると認められる場合（協賛事業及び特別協賛事業は除く。）には、前号の規定にかかわらず概算払をすることができる。
- (3) 概算払を請求する団体等は、概算払請求書（様式8号）を理事長に提出するものとする。

(事業内容の変更等)

第8条 団体等は、事業の決定の通知を受けたのち、その計画内容を変更又は中止しようとするときは、速やかにその旨を理事長に届出の上、当財団からの指示に従うものとする。

2 理事長は、前項の変更内容により、必要に応じて助成金又は委託費の額の変更決定等を行うことができる。

(事業実施報告書の提出)

第9条 団体等は、事業が終了した場合には速やかに、事業実施報告書（様式6号又は様式7号の該当様式）に助成金請求書又は委託費請求書（様式9号）、若しくは、概算払を受けた場合は、概算払請求書（様式8号）を添付の上、理事長に提出するものとする。

(助成金の変更等)

第10条 理事長は、前条の規定により提出された事業実施報告書の調査検討において、適正に事業が実施されていないことが明らかになった場合には、助成金の額を変更し又は取り消すことができる。

(改廃)

第11条 この要領の改廃は、理事会の決議を経て行う。

付則

- 1. この要領の施行に関し必要な事項は、理事長が別に定める。
- 2. この要領は、公益財団法人げんでんふれあい茨城財団の設立登記のあった日（平成24年10月1日）から施行する。）

令和8年度学校代議員一覧

番号	学校名	会員数	代議員名
1	県立高萩高等学校	28	宮崎 将
2	県立高萩清松高等学校	29	遅澤 雄樹
3	県立日立第一高等学校	42	武藤 智
4	県立日立第二高等学校	15	矢作 和博
5	県立日立工業高等学校	46	飛田 浩樹
6	県立多賀高等学校	23	大内健太朗
7	県立日立商業高等学校	35	小林 智詞
8	県立日立北高等学校	24	會田 政史
9	県立磯原郷英高等学校	17	栗林 祐樹
10	県立太田第一高等学校	37	江連 地大
11	県立太田西山高等学校	16	友常 憲伸
12	県立大子清流高等学校	30	川崎 洋
13	県立小瀬高等学校	14	工藤 直美
14	県立常陸大宮高等学校	22	吉原 夏子
15	県立水戸第一高等学校	52	益子 友希 池田 頼正
16	県立水戸第二高等学校	34	埜渡 陽一
17	県立水戸第三高等学校	40	水谷 晴佳
18	県立緑岡高等学校	39	深谷 雄樹
19	県立水戸農業高等学校	81	野々下 涉 鴨志田宗一
20	県立水戸工業高等学校	59	池田 亘 北中 彬子
21	県立水戸商業高等学校	46	久下沼秀穂
22	県立水戸南高等学校	42	郡司 一也
23	県立水戸桜ノ牧高等学校	42	田山 敏行
23-1	県立水戸桜ノ牧高等学校常北校	15	安蔵 恭吾
24	県立勝田工業高等学校	47	今村 大
25	県立佐和高等学校	32	黒田 和典
26	県立那珂湊高等学校	23	小倉 雄太
27	県立海洋高等学校	29	北條 篤史
28	県立笠間高等学校	25	川津 雄司
29	県立IT未来高等学校	22	根本 貴史
30	県立大洗高等学校	18	古田部和也
31	県立東海高等学校	19	大曾根茂延

番号	学校名	会員数	代議員名
32	県立茨城東高等学校	17	櫻井 真一
33	県立那珂高等学校	26	浦島 方人
34	県立鉾田第一高等学校	29	竹田 孝輝
35	県立鉾田第二高等学校	44	戸村 文隆
36	県立玉造工業高等学校	37	藤枝 信弘
37	県立麻生高等学校	18	青野 真人
38	県立潮来高等学校	30	貝塚 雅人
39	県立鹿島高等学校	34	上小澤桂一
40	県立鹿島灘高等学校	26	菊地 仁志
41	県立神栖高等学校	21	松金 克弥
42	県立波崎高等学校	46	工藤 洋章
43	県立波崎柳川高等学校	22	石川 正幸
44	県立土浦第一高等学校	26	井坂 直樹
45	県立土浦第二高等学校	33	速水奈穂美
46	県立土浦第三高等学校	35	松本 現
47	県立土浦工業高等学校	31	植田 航
48	県立土浦湖北高等学校	18	池田 翔吾
49	県立石岡第一高等学校	26	黒田 謙吾
50	県立石岡第二高等学校	28	小林 賢
51	県立石岡商業高等学校	22	大沢 竜也
52	県立中央高等学校	22	池田 智美
53	県立竜ヶ崎第一高等学校	40	四家 明彦
54	県立竜ヶ崎第二高等学校	28	平岡 千寛
55	県立竜ヶ崎南高等学校	21	岡野 怜子
56	県立江戸崎総合高等学校	31	茂木 杏奈
57	県立取手第一高等学校	26	茂木 孝允
58	県立取手第二高等学校	16	中村真由美
59	県立取手松陽高等学校	28	鎌田千亜紀
60	県立藤代高等学校	22	宮本 秀斗
61	県立藤代紫水高等学校	19	会田 亮祐
62	県立牛久高等学校	23	石川 利枝
63	県立牛久栄進高等学校	32	青木 勇也
64	県立筑波高等学校	15	飯田 彩織
65	県立竹園高等学校	27	佐藤 雄登
66	県立つくばサイエンス高等学校	43	篠崎 拓也

令和8年度学校代議員一覧

番号	学校名	会員数	代議員名
67	県立荃崎高等学校	23	大林可奈子
68	県立岩瀬高等学校	26	藤森知恵子
69	県立真壁高等学校	24	岡野 至仁
70	県立下館第一高等学校	33	薄羽 明梨
71	県立下館第二高等学校	15	上野 路子
72	県立下館工業高等学校	37	早川 和男
73	県立明野高等学校	9	増渕 禎志
74	県立下妻第一高等学校	20	富田 直伸
75	県立下妻第二高等学校	16	荻野 雄太
76	県立結城第一高等学校	12	川島 瑠莉
77	県立結城第二高等学校	15	小島 俊晴
78	県立鬼怒商業高等学校	29	大塚 綾乃
79	県立石下紫峰高等学校	17	蟠原 友和
80	県立水海道第一高等学校	19	島崎 誠
81	県立水海道第二高等学校	24	寒河江雄一郎
82	県立八千代高等学校	15	長谷川拓也
83	県立古河第一高等学校	27	大沼 孝至
84	県立古河第二高等学校	14	石塚 博幸
85	県立古河第三高等学校	18	中山 博文
86	県立総和工業高等学校	37	三津山 央
87	県立三和高等学校	7	藤井 拓也
88	県立境高等学校	21	森永 智仁
89	県立坂東清風高等学校	28	高野 敦
90	県立守谷高等学校	20	前島 彩乃
91	県立伊奈高等学校	17	山本 正光
中等1	県立勝田中等教育学校	35	野上 泉
中等2	県立並木中等教育学校	24	萩原 青子
中等3	県立古河中等教育学校	19	廣瀬 涼子
特1	県立盲学校	4	石川茉莉恵
特6	県立水戸特別支援学校	6	岩間菜穂子
特8	県立水戸高等特別支援学校	3	市毛 貴子
特9	県立友部特別支援学校	2	社本 優希
特11	県立内原特別支援学校	1	大賀絵理子
特14	県立鹿島特別支援学校	2	大久保京子

番号	学校名	会員数	代議員名
特16	県立石岡特別支援学校	2	飯田 栄一
特18	県立伊奈特別支援学校	1	大木 勉
特23	県立境特別支援学校	1	林 孝一
私1	明秀学園日立高等学校	10	五月女 修
私2	茨城キリスト教学園高等学校	18	藤本 邦章
私3	科学技術高等学校日立	2	豊田 裕樹
私4	茨城高等学校	17	谷部 淳一
私5	常磐大学高等学校	45	林 祐也
私6	大成女子高等学校	36	鈴木 博之
私7	水戸女子高等学校	17	山崎 光
私8	水戸啓明高等学校	6	杉浦 正寛
私9	水城高等学校	20	宮城 晶軌
私10	水戸葵陵高等学校	13	今井 健二
私11	清真学園高等学校	18	内田 真美
私12	鹿島学園高等学校	7	崎山 綾子
私13	土浦日本大学高等学校	114	松川 尚弥
			五十田勇登
			高橋 淳
私14	岩瀬日本大学高等学校	21	木上 由季
私15	つくば国際大学高等学校	5	菅野 智義
私16	つくば国際大学東風高等学校	9	山本 幹史
私17	霞ヶ浦高等学校	81	矢島 佳貴
			泉川 淳
私18	常総学院高等学校	4	齋藤 敬
私19	愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校	5	立川 泰敬
私20	東洋大学附属牛久高等学校	29	鈴木 伸一
私21	聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校	6	細津由紀子
私22	茗溪学園高等学校	21	新谷 浩章
私23	つくば秀英高等学校	12	中山 慎也
私26	土浦日本大学中等教育学校	66	三輪 祐輔
			吉岡 和希
私27	智学館中等教育学校	8	南雲 太一
私28	翔洋学園高等学校	3	高見 徳昭
私29	水戸平成学園高等学校	1	磯崎 康孝

登録校数：131校 会員数：3,222人

令和8年度 理 事

部名	氏名	校・職	氏名	校・職	氏名	校・職
国語	高野美有紀	牛久・長	菊池幸恵	日立商・長	船橋希予	総和工・諭
公民	細貝雅之	日立一・長	石本由布子	牛久栄進・頭	武藤智	日立一・諭
地理	西野守郎	水戸南・長	宇都木宏一	守谷・教頭	竹内宏和	牛久・諭
歴史	井上宏孝	那珂湊・長	大塚健司	下館工・頭	栗原伸慈	牛久・諭
数学	櫻井良種	竹園・長	飯泉潤也	土浦一・諭	川上博行	水戸二・諭
生物	江原忠宏	中央・長	鈴木亮輔	牛久・諭	西元重雄	水海道一・諭
理化	榊原洋子	境・長	大西武彦	藤代・長	富澤英士	鉾田二・頭
地学	渡邊聡	土浦三・長	磯邊裕一	水戸一・諭	松本現	土浦三・諭
音楽	高野光章	潮来・長	前島誠	日立一・諭	郷恵子	取手松陽・諭
美術工芸	鈴木厚子	古河三・長	安島尚毅	勝田工・長	鈴木麻巨	古河三・諭
書道	四位学	水海道二・長	郡司美知子	水戸三・頭	打越茉衣	水海道二・諭
保健体育	野友宏則	神栖・長	金子英樹	大子清流・長	柳真佐子	土浦湖北・長
家庭	鈴木治子	日立二・長	齋藤和美	取手二・諭	久野真紀子	竜ヶ崎二・諭
英語	谷津勉	土浦一・長	鈴木厚子	古河三・長	田中淳子	竹園・副
農業	堤祐二	水戸農・長	菊池克明	真壁・長	小澤茂幸	江戸崎総合・長
工業	田中一豪	水戸工・長	工藤博幸	常陸大宮・長	鈴木嘉春	水戸工・諭
商業	岡野敏昌	水戸商・長	高野光章	潮来・長	長嶺朋	水戸商・諭
水産	岡田浩	海洋・長	阿部圭二	海洋・頭	北條篤史	海洋・諭
衛生看護	額賀修一	大成女子・長	広瀬聖子	大成女子・頭	比氣勝俊	岩瀬・頭
情報	渡邊英一	下館一・長	津賀宗充	土浦二・長	速水奈穂美	土浦二・副
福祉	石塚博幸	古河二・長	山下則雄	高萩清松・長	林冴美	古河二・諭
図書館	奈良由紀子	牛久栄進・長	高野美有紀	牛久・長	青木勇也	牛久栄進・諭
視聴覚	岡村守	霞ヶ浦・長	星浩一	水戸二・諭	石川瑤子	竜ヶ崎一・諭
生徒支援	高野太一	茨城東・長	石川正幸	波崎柳川・頭	黒澤信行	茨城東・諭
進路指導	須藤一道	藤代紫水・長	谷中頌太	藤代紫水・諭	芳賀裕子	藤代紫水・諭
定通	西野守郎	水戸南・長	綿引志雅子	鹿島灘・長	渡邊利視	水戸南・頭
養護	野友宏則	神栖・長	糊澤美和	水戸商・諭	津嶋純子	神栖・諭
特別活動	細貝雅之	日立一・長	岩崎卓士	取手二・長	新堀隆久	大洗・長
教育相談	井上宏孝	那珂湊・長	青木重雄	鹿島・頭	菅原薫	茎崎・頭

令和8年度 部代議員一覧

部名	代議員名（所属校）				
国語	熊谷 航大 （太子清流）	金子こずえ （水戸三）	阿部 琢人 （神 栖）	傳法谷公彦 （取手一）	南 陽子 （並木中等）
公民	西内 貴人 （茨キリスト教）	宮代眞由美 （土浦工）	後藤慎太郎 （水海道一）		
地理	望月亜希子 （並木中等）	野中 尚 （古河一）	松本 穂高 （竹 園）		
歴史	宇野 怜香 （太田一）	岡崎 翔太 （水戸一）	生井 雅久 （神 栖）	富山 恵 （藤 代）	
数学	富山 啓一 （太田西山）	菅谷 優樹 （笠 間）	小畑 繁 （玉造工）	渋谷 聖史 （土浦湖北）	
生物	井上 剛 （伊 奈）	栗林 祐樹 （磯原郷英）	櫻井千香子 （日立北）		
理化	山口 悟 （高萩清松）	澤畠 博之 （日立一）	國府田宏輔 （日立一）		
地学	菊地 信吾 （下妻二）	藤曲 和摩 （竜ヶ崎一）			
音楽	横田 真美 （筑 波）	塚田こずえ （下館二）			
美術工芸	富田 努 （土浦一）	檉村 敦雄 （明秀日立）			
書道	飛田 博昭 （太田一）	細谷 一郎 （つくば国際東風）	市橋 郁恵 （大成女子）		
保健体育	四位 学 （水海道二）	野田浩太郎 （水戸三）	水貝 保 （鹿島灘）	小沼 博義 （鹿島特支）	飯田 猛士 （水戸三）
家庭	綿引 彩華 （太子清流）	友部 優花 （鉾田一）	岡村 友美 （土浦三）		
英語	浅野 真司 （鹿 島）	押野 智子 （牛 久）	佐藤 駿介 （太田一）	関根 貴則 （勝田中等）	
農業	田辺 宏行 （鉾田二）	長久保静江 （石岡一）	鈴木 好史 （坂東清風）		
工業	鯉沼 英樹 （日立工）	家中 祐幸 （玉造工）	今村 大 （勝田工）	田村 英紀 （波 崎）	
商業	須永 智紀 （鬼怒商）	稲葉 徹 （水海道二）	平野 幸秀 （太子清流）		
水産	奥原 直之 （海 洋）	小澤 航平 （海 洋）			
衛生看護	益子八千代 （大成女子）	小松崎直美 （岩 瀬）			
情報	野中 寿英 （牛久栄進）	川上 弘 （江戸崎総合）	藤井 拓也 （三 和）		
福祉	都筑 有子 （高萩清松）	渡邊絵美子 （太田西山）			
図書館	上野 美優 （常陸大宮）	松本 麗子 （竜ヶ崎南）	菊池 潤子 （つくば秀英）		
視聴覚	兼子 唱太 （霞ヶ浦）	湯澤 拳 （霞ヶ浦）			
生徒支援	藪内 正則 （常陸大宮）	藤野 克也 （鹿 島）	及川 光平 （土浦工）	黒須 資大 （結城一）	
進路指導	久下沼理絵 （小 瀬）	奥山 洋士 （牛 久）	石塚 章夫 （水戸一）	坂本 拓也 （土浦一）	井坂 忠生 （東洋大牛久）
定通	鴨志田 剛 （水戸南）	鎌田 智之 （高 萩）	菅原 薫 （茎 崎）		
養護	崎山 綾子 （鹿島学園）	横岡 優香 （波 崎）	岩月 範子 （潮 来）		
特別活動	奥村 英樹 （古河三）	大槻 航 （太田西山）			
教育相談	藤田まり子 （那珂湊）	坪 雄太 （水戸一）	人見 広章 （日立北）	大槻 満 （つくばサイエンス）	

令和8年度 部長・事務局担当者一覧

	部名	部長名	所属校	事務局 担当者名	所属校	住所	TEL	FAX
1	国 語	高野美有紀	牛 久	船橋 希予	総和工	古河市葛生1004-1	0280-92-0660	0280-92-8352
2	公 民	細貝 雅之	日立一	武藤 智	日立一	日立市若葉町3-15-1	0294-22-6488	0294-21-4490
3	地 理	西野 守郎	水戸南	竹内 宏和	牛 久	牛久市岡見町2081-1	029-873-6220	029-874-8580
4	歴 史	井上 宏孝	那珂湊	栗原 伸慈	牛 久	牛久市岡見町2081-1	029-873-6220	029-874-8580
5	数 学	櫻井 良種	竹 園	飯泉 潤也	土浦一	土浦市真鍋4-4-2	029-822-0137	029-826-3521
6	生 物	江原 忠宏	中 央	西元 重雄	水海道一	常総市水海道亀岡町2543	0297-22-0029	0297-22-5479
7	理 化	榊原 洋子	境	山口 悟	高萩清松	高萩市赤浜1864	0293-23-4121	0293-22-2915
8	地 学	渡邊 聡	土浦三	松本 現	土浦三	土浦市大岩田1599	029-821-1605	029-826-3523
9	音 楽	高野 光章	潮 来	郷 恵子	取手松陽	取手市小文間4770	0297-77-8934	0297-73-7816
10	美術工芸	鈴木 厚子	古河三	鈴木 麻巨	古河三	古河市中田新田12-1	0280-48-2755	0280-48-5424
11	書 道	四位 学	水海道二	打越 茉衣	水海道二	常総市水海道橋本町3549-4	0297-22-1330	0297-22-5489
12	保健体育	野友 宏則	神 栖	飯田 猛士	水戸三	水戸市三の丸2-7-27	029-224-2044	029-225-4524
13	家 庭	鈴木 治子	日立二	久野真紀子	竜ヶ崎二	龍ヶ崎市古城3087	0297-62-3078	0297-62-9850
14	英 語	谷津 勉	土浦一	石井 典子	太田一	常陸太田市栄町58	0294-72-2115	0294-72-2119
15	農 業	堤 祐二	水戸農	薮 信広	水戸農	那珂市東木倉983	029-298-6266	029-295-4780
16	工 業	田中 一豪	水戸工	鈴木 嘉春	水戸工	水戸市元吉田町1101	029-247-5711	029-248-6399
17	商 業	岡野 敏昌	水戸商	長嶺 朋	水戸商	水戸市新荘3-7-2	029-224-4402	029-225-4376
18	水 産	岡田 浩	海 洋	北條 篤史	海 洋	ひたちなか市和田町3-1-26	029-262-2525	029-263-5593
19	衛生看護	鈴木富美子	岩 瀬	木代さおり	岩 瀬	桜川市岩瀬1511-1	0296-75-2475	0296-75-4906
20	情 報	渡邊 英一	下館一	速水奈穂美	土浦二	土浦市立田町9-6	029-822-5027	029-826-3522
21	福 祉	石塚 博幸	古河二	林 冴美	古河二	古河市幸町19-18	0280-32-0444	0280-31-6602
22	図 書 館	奈良由紀子	牛久栄進	青木 勇也	牛久栄進	牛久市東獺穴町876	029-843-3110	029-842-891
23	視 聴 覚	岡村 守	霞ヶ浦	石川 瑤子	竜ヶ崎一	龍ヶ崎市平畑248	0297-62-2146	0297-62-9830
24	生徒支援	高野 太一	茨城東	黒澤 信行	茨城東	東茨城郡茨城町小幡2524	029-292-6245	029-292-2405
25	進路指導	須藤 一道	藤代紫水	谷中 頌太	藤代紫水	取手市紫水1-660	0297-83-6427	0297-83-6160
26	定 通	西野 守郎	水戸南	渡邊 利視	水戸南	水戸市白梅2-10-10	029-247-6173	029-248-6694
27	養 護	野友 宏則	神 栖	津嶋 純子	神 栖	神栖市高浜1468	0299-92-4169	0299-92-3673
28	特別活動	細貝 雅之	日立一	オドノフ 飛鳥	日立一	日立市若葉町3-15-1	0294-22-6488	0294-21-4490
29	教育相談	井上 宏孝	那珂湊	鈴木 康裕	那珂湊	ひたちなか市山ノ上町4-6	029-262-2642	029-263-3961
本部事務局				青木 公司	緑 岡	水戸市笠原町1284	029-241-0311	029-241-7929

茨城県高等学校教育研究会規約

第1章 総 則

第1条 本会は、茨城県高等学校教育研究会といい、県立緑岡高等学校に事務局をおく。

第2条 本会は、茨城県内にある高等学校等の教職員で、本会の趣旨に賛同する者を会員とする研究組織である。

第3条 本会は、教育研究をととして、会員の職能向上を図り、高等学校教育の振興発展を図ることを目的とする。

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 1 教育に関する各種の調査研究
- 2 研究大会、研究協議会、講演会、講習会、研究発表会等の開催
- 3 会報、研究紀要等の発行
- 4 その他本会の目的達成に必要な事業

第5条 本会は、次の2部会の各部をもって組織する。

教科部会：国語、公民、地理、歴史、数学、生物、理化、地学、音楽、美術工芸、書道、保健体育、家庭、英語、農業、工業、商業、水産、衛生看護、情報、福祉

領域部会：図書館、視聴覚、生徒支援、進路指導、定通、養護、特別活動、教育相談

第2章 役 員

第6条 本会に次の役員をおく。

会長 1名 副会長 3名 理事 各部3名 監事 3名 幹事 若干名

第7条 会長は会務を総理し、本会を代表する。

副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは代理する。

第8条 理事は、理事会を構成し、本会運営のため企画・立案し、会務を行う。

第9条 監事は、会計の監査を行う。

幹事は、本会の事務を処理する。

第10条 会長、副会長、監事は総会において選出する。理事は、各部から3名選出する。幹事は、会長これを委嘱する。

第11条 本会の役員の任期は、1年とし、再任をさまたげない。

補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。

第3章 機 関

第12条 本会に次の機関をおく。

総会、理事会、部長会、部

総会は、代議員によって構成する。代議員は、各校・各部からそれぞれ選出する。各校の代議員は、会員50名までは1名とし、50名を超えるごとに、さらに1名ずつを増すものとする。

各部の代議員は、会員100名までは2名とし、100名を超えるごとに、さらに1名ずつを増すものとする。

総会は、構成員の過半数をもって成立し、その議事は、出席者の過半数をもって決する。ただし、規約の変更は、出席者の3分の2以上をもって決する。

第13条 総会は、次の各号を審議決定する。

- 1 本会の事業に関する事項
- 2 規約の変更
- 3 予算の審議及び決算の承認
- 4 会長、副会長及び監事の選任
- 5 その他必要と認める事項

第14条 理事会は、本会運営のため、企画・立案し総会に諮る事項を審議する。

第15条 部長会は、会長の諮問に応じて理事会に提案する事項を審議する。なお、部長会は、各部長によって構成される。

第16条 総会、理事会、部長会は、年1回以上、会長がこれを招集する。ただし、必要あるときは、臨時に開くことができる。

第17条 総会、理事会、部長会の審議に関して、やむを得ない事情により招集が難しいと会長が認めたときは、オンラインによる実施及び書面（電磁的記録を含む）により表決ができるものとする。

第18条 各部は、本会と連絡を図り、部会を開く。

各部の運営は、部長がこれにあたる。

第4章 会 計

第19条 本会の経費は、会費、補助金、その他の収入をあてる。

会費は、年額2,600円とする。

第20条 本会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

第21条 本会の経理については、会長が別に定める。

第22条 本会の事務局に、事務職員をおき、手当を支給することができる。

付 則

本会の規約は昭和46年7月1日から実施する。

昭和47年8月8日第5条の一部改正、昭和47年4月1日から実施

昭和48年8月6日第16条の一部改正、昭和48年4月1日から実施

昭和52年1月29日第16条の一部改正、昭和52年4月1日から実施

昭和59年8月1日第5条の一部改正、昭和59年8月1日から実施

昭和61年8月4日第16条の一部改正、昭和61年4月1日から実施

平成2年7月31日第5条の一部改正、平成3年4月1日から実施

平成6年7月22日第5条の一部改正、平成6年4月1日から実施

平成7年7月24日第5条の一部改正、平成7年4月1日から実施

平成11年7月26日第5条、第6条、第12条、第13条、第16条の一部改正、第14条、第15条を新規追加、平成11年4月1日から実施

平成12年7月27日第18条の一部改正、平成12年4月1日から実施

平成15年7月2日第5条の一部改正、平成15年4月1日から実施

平成17年7月1日第1条の一部改正、第20条を新規追加、平成17年4月1日から実施

平成20年7月4日第2条の一部改正、平成20年4月1日から実施

平成27年7月6日第5条の一部改正、平成27年4月1日から実施

令和4年7月1日第21条を第22条とし、第17条から第20条までを1条ずつ繰り下げ、第17条を新規追加、令和4年7月1日から実施

令和7年7月2日第5条の一部改正、令和7年4月1日から実施

茨城県高等学校教育研究会経理規程

（目的）

第1条 本規程は、茨城県高等学校教育研究会規約第20条の規定に基づき、本会の経理事務に関し必要な事項を定めることを目的とする。

（会計処理の手続き）

第2条 会計処理は以下の手続きをもって行う。

（1）収入

本会に収入があった場合、庶務担当幹事は、領収報告書を作成し、経理担当幹事及び事務局長の精査の後、会長に報告するものとする。

（2）支出

ア 支出に際しては、すべての場合において、庶務担当幹事が支出伺を起案し、経理担当幹事及び事務局長の精査後、会長が決裁するものとする。

イ 支出の後、支出伺に領収書又は振込書を貼付するものとする。

（会計帳票への記載）

第3条 会長の決裁した会計事項はすべて会計帳票に記載し、併せて残額を明らかにするものとする。

（見積書の徴収）

第4条 本会が契約しようとするときは、なるべく2人以上の者から見積書を徴さなければならない。

2 1件の予定価格が10万円未満の場合は、1人の者の見積書で処理することができるものとする。

3 1件の予定価格が5万円未満の場合は、見積書を省略することができるものとする。

（旅費）

第5条 本会の役員が、会の業務のため旅行した場合の旅費の支給については、職員の旅費に関する条例（昭和28年茨城県条例第56号）及び職員の旅費に関する規則（昭和37年茨城県人事委員会規則第4号）の規定を準用する。

（会長印及び通帳の保管）

第6条 本会の会長印は、経理担当幹事がこれを保管するものとする。通帳は、庶務担当幹事がこれを保管するものとする。

（書類等の保管）

第7条 当該会計年度中の会計書類（証拠書類・帳票等）は、庶務担当幹事が保管するものとする。

2 本会の会計書類及び通帳は、これを5年間保存するものとする。

（決算）

第8条 幹事は、会計年度終了後速やかに決算書を作成し、会長に提出するものとする。

（予算）

第9条 幹事は、決算書提出に併せて予算書原案を会長に提出するものとする。

（監査）

第10条 会長は、前条の決算書により本会監事による監査を受けるものとする。

2 監事は、監査結果を総会において報告するものとする。

（改正）

第11条 本規程は、役員による会議をもって改正することができるものとする。ただし、その結果を総会に報告するものとする。

付 則 本規程は、平成17年7月1日から適用する。

茨城県高等学校教育研究会運営細則

第 1 条 会員の届出

会員数およびその部所属等については、年度はじめ学校代議員が学校ごとにまとめて会長に届ける。

第 2 条 各部の報告

各部は 6 月末までに役員名および決算・予算等を会長に報告する。

第 3 条 会費の納入

会費は 6 月末までに学校ごとに、(会員数×2,600 円) まとめて本部事務局に納入する。

第 4 条 会費の配分

会費の各部への配分は別に定める配分方式によるものとする。

付 則

昭和 61 年 8 月 4 日第 3 条の一部改正、昭和 61 年 4 月 1 日から実施

昭和 62 年 8 月 3 日第 4 条の一部改正、昭和 62 年 4 月 1 日から実施

平成 7 年 7 月 24 日第 5 条の一部改正、平成 8 年 4 月 1 日から実施

平成 11 年 7 月 26 日旧第 4 条削除、平成 11 年 4 月 1 日から実施

平成 12 年 7 月 27 日第 3 条の一部改正、平成 12 年 4 月 1 日から実施

平成 30 年 7 月 3 日第 3 条の一部改正、平成 31 年 4 月 1 日から実施

各部の事業費配分方式

1 各部の事業費は、基礎額、部員数割、校数割の合計によって定める。

(1) 基礎額は、各部とも 80,000 円とする。

(2) 部員数割は、教科部会一人当たりの額を領域部会一人当たりの額の 2.5 倍とする。ただし、養護部一人当たりの額は、領域部会一人当たりの額の 1.75 倍とする。

なお、教科部会と領域部会の部員合計数の比率をもとに、5 年ごとに見直すものとする。

(3) 校数割は、各部とも 1 校当たり 400 円とする。

2 この配分方式は、平成 13 年度から施行する。

付 則 平成 17 年度総会で審議し、平成 18 年度から施行する。

平成 22 年度総会で審議し、平成 23 年度から施行する。

平成 27 年度総会で審議し、平成 28 年度から施行する。

令和 3 年度総会で審議し、令和 3 年度から施行する。

令和 7 年度総会で審議し、令和 8 年度から施行する。

茨城県高等学校教育研究会発行研究集録原稿提出についての申し合わせ事項

1 研究集録原稿の各部からの推薦は、下記のとおり行う。

- (1) 各部からの原稿の推薦は、別表のとおり A から C グループのローテーションを原則とする。
- (2) 当該年度のグループにあって、推薦が無理な部がある場合は、高教研事務局が、次年度に該当する各部と協議し、入れ替えることを原則とする。
- (3) 推薦に当たっては、各部一編を原則とし、その原稿を各部事務局を通じて、高教研事務局に送付するものとする。
- (4) 最初の推薦の実施は、A グループとする。

2 本会員の一般応募については、従前どおりとする。

別 表

A グループ (10 部)	国語、歴史、理化、美術工芸、家庭、工業、衛生看護、図書館、進路指導、特別活動
B グループ (10 部)	公民、数学、地学、書道、英語、商業、情報、視聴覚、定通、教育相談
C グループ (9 部)	地理、生物、音楽、保健体育、農業、水産、福祉、生徒支援、養護

令和3年度から実施（令和8年度は、C グループからの推薦）

茨城県高等学校教育研究会監事選出の申し合わせ事項

- 1 監事は本会員の中から各部持ち回りで3名選出する。そのうちの2名は県立学校所属とし、他1名は私立高等学校所属とする。
- 2 県立学校所属の監事にあっては、茨城県高等学校教育研究会規約第5条に記載されている、国語部から順に各部1名を選出し、私立学校所属の監事にあっては、図書館部から順に選出する。ただし、一つの部から同時に2名以上の監事を選出することはできない。
- 3 監事の選出は、当該部の部長が当たり、その結果を高教研事務局に報告する。
- 4 上記の規定により選出された監事の任期は3年とする。ただし、同一部内での交替は妨げない。

平成28年4月1日から実施

茨城県高等学校教育研究会における補助金に関する申し合わせ事項

Ⅰ 本会所属の部における本県内で開催される全国研究協議会及び関東研究協議会にあっては、部から申請があった場合には、下記のとおり補助金を交付する。

(Ⅰ) 部全体にかかわる研究協議会

研究協議会の種類	金 額
全国研究協議会	5 万円
関東研究協議会	3 万円

(Ⅱ) 部の中の一分野の研究協議会

研究協議会の種類	金 額
全国研究協議会	2 万円
関東研究協議会	2 万円

2 上記以外の場合は、その都度部は事務局と協議して交付金の額を決める。

平成7年4月1日から実施